

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成23年8月分)

ご協力ありがとうございました。平成23年8月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 154社 回答率 92.8%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	11社 7.2% (7.7)	20社 13.2% (16.0)	62社 40.8% (38.5)	40社 26.3% (28.8)	19社 12.5% (9.0)	152社	33社 22.6% (17.8)	32社 21.9% (22.4)	46社 31.5% (27.0)	22社 15.1% (20.4)	13社 8.9% (12.5)	146社
売上高	12社 7.8% (5.7)	23社 15.0% (16.6)	58社 37.9% (37.6)	43社 28.1% (31.2)	17社 11.1% (8.9)	153社	37社 25.2% (17.0)	36社 24.5% (27.5)	45社 30.6% (22.9)	18社 12.2% (19.6)	11社 7.5% (13.1)	147社
在庫数量	2社 1.4% (0.7)	25社 16.9% (13.2)	71社 48.0% (52.3)	40社 27.0% (27.8)	10社 6.8% (6.0)	148社	16社 11.3% (8.2)	28社 19.9% (21.1)	62社 44.0% (38.8)	19社 13.5% (20.4)	16社 11.3% (11.6)	141社
販売単価	1社 0.7% (0.0)	10社 6.7% (9.9)	110社 73.3% (63.8)	28社 18.7% (25.0)	1社 0.7% (1.3)	150社	9社 6.4% (4.8)	37社 26.4% (26.2)	71社 50.7% (44.1)	22社 15.7% (20.7)	1社 0.7% (4.1)	140社
収益状況 (粗利)	4社 2.6% (3.9)	24社 15.9% (14.9)	65社 43.0% (44.8)	49社 32.5% (26.6)	9社 6.0% (9.7)	151社	14社 9.7% (9.3)	39社 26.9% (20.7)	52社 35.9% (30.0)	29社 20.0% (24.7)	11社 7.6% (15.3)	145社
稼働率 (生産・加工設備)	4社 3.3% (2.4)	19社 15.6% (15.4)	55社 45.1% (48.8)	33社 27.0% (30.1)	11社 9.0% (3.3)	122社	10社 8.5% (9.3)	32社 27.4% (19.5)	51社 43.6% (36.4)	18社 15.4% (22.9)	6社 5.1% (11.9)	117社
入出庫の トラック台数	5社 3.4% (2.7)	20社 13.6% (9.4)	70社 47.6% (55.7)	41社 27.9% (29.5)	11社 7.5% (2.7)	147社	9社 6.5% (9.0)	32社 23.0% (17.9)	66社 47.5% (45.5)	26社 18.7% (17.9)	6社 4.3% (9.7)	139社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	1社 0.7% (1.4)	10社 7.0% (9.7)	61社 42.7% (33.8)	37社 25.9% (30.3)	34社 23.8% (24.8)	143社	1社 0.8% (3.6)	50社 37.9% (25.7)	63社 47.7% (49.3)	15社 11.4% (17.1)	3社 2.3% (4.3)	132社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査（8月） 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 7月に続いて、8月も悪い。ただし、休みが多い中では動いた方か。相変わらず建材は不調。自動車、建機は好調である。秋需を期待したいところだが、具体的な話も、引合も無い状態。今は細かい仕事でも確実に拾い、少しでも多く商売をつないでいくことに専念する。
- ② 稼働日数も7月とほぼ同じになったが、夏休みをはさみ総じて低調となった。薄物に実需の力強さが無く、一部紐付の自動車や発電機外板、ホームの転落防止スライドドア等が数少ない繁忙品種か。ただし、復興関連を含め、下期以降の建築は必ず出て来るはずで、新築以外でも大規模な補修や内装建材は期待できる。スクラップも底打ち気配だが、円高もあり輸入材も足を引っ張り、相場は反転の力に乏しい。下がらないが、上げられない。
- ③ 電力使用制限および夏季休暇等により、生産稼働時間に制約があったものの、前月に比較して受注増となった。建築関連需要の動きは散発的に出始めてきたが、継続的な動きには、まだ時間がかかりそうである。国内空洞化の危機下、野田新政権には早急な円高対策と投資回帰を図る経済対策の総動員を一刻も早く望みたい。
- ④ 仕入価格は高止まりで動かず、市況は値上げ半ばでストップ。長引く荷動き不振で流通の売り圧力が強く、弱含み横這い商状となっている。更なる価格転嫁で市況を採算ラインへ持っていくことが急務だが、先が見えない。
- ⑤ 不況の中、薄板三品在庫が5ヶ月ぶりに減少に転じた。
- ⑥ 自動車の集購単価の改定に伴い、店売市況がどう変わるか。秋口の増産で鋼材不足も懸念されている。東北向けを中心に建材の案件が増えてきている。

中板

- ① 8月の販売量は前月比減少となる。荷動きは低調域を脱せず市況は低位を続けており、現コイル価格からは採算割れの商売が続き、苦戦を強いられている。売上数量の確保から安値販売競争が激化しており、多分に影響を受けている。在庫調整は出来ている中、無理な商売は避けているが、価格合わせの販売が一部散見される。今後、建設関連の需要回復に期待したいが、輸入材およびスクラップの動向には常に注視が必要と考える。

厚板

- ① 東鉄の値下げも影響して、日増しに引合、見積りが少なくなっている。切板の単価が上がらず、素材との値差確保に頭を悩ませている。
- ② 当月は中旬以降土木関連の加工が始まったため、低水準であった前月比では数量、売上高とも増加したが、まだ橋梁、鉄骨の山積は低く、稼働率から見ればやっと6割を越えた程度である。来月以降は、本格的に土木関係の加工が立ち上がるため、数ヶ月は高い山積が続く予定。ベースとなる橋梁関係は、現在順次入札が実施されているが、切板に結びつくのは3Q以降となる見込みで、それまでは土木関連主体

の加工となる。価格面においては、建材関係の低調から切板市況は相変わらず上昇力は鈍く、弱含みの状況である。

一般開張鋼

- ① 前月比営業日数は2日減なのに、売上、粗利は微増となったのは、実質10%以上の増加というべきか。震災後に中断していた鋼材末端需要は漸く回復の緒についていえるのではないか。年末にかけて月ごとに漸増していくと思われる。

EH開張鋼

- ① 東鉄は9月販価値下げの発表だったが、市場は冷静に対処し、市況は下押しされなかった。また、東鉄の物件価格も現在上げており、完全に市況は底打ちし、反転するであろう。
- ② 市況の底は打った感はある。ただ、需要に対しての在庫がまだ多く切迫感がない。需要増と在庫減のタイミングとメーカーの対応がマッチすれば、市況上昇になるのではないか。

異形棒鋼

- ① 震災後、3月、4月は荷動きが出たが、反動で5月以降落ち込んだ。低位であるが7、8月は戻りつつある。メーカーも建値から離れる価格には抵抗。売値も直送、店売とも横這っている。節電等自粛が続いたが、秋のクォーター内には動きが前より出ると思う。

平鋼

- ① 日量の荷動きは相変わらず低位安定。市況もまだ安定しておらず底値が見えないが、スクラップも反転し始めており、東鉄の発表次第では相場も変化するのではないかと。早く底値を固め、値戻しの動きになることを期待している。

鋼管

- ① 6～7月頃までの不透明感から見ればやや先行きの需要期待感が出てきた。
- ② 4～7月は低レベルでも横這いであったが、8月は大幅に悪化した。とくに需要家向けは激減した。
- ③ 8月の売上は前年同月比微増。前月比でも微増だった。市況も上がらずだが極端に弱いわけではない。

構造用鋼

- ① 需要環境は建築機械、産業機械関連等、堅調な動きとなっており、さらに自動車関連は急回復しており、需給バランスはタイト化していくものと思われる。各鉄鋼メーカーの店売値上げを受けて、再販転稼を進めており、8月21日以降さらに進んでほぼ浸透した。
- ② 自動車の生産回復を背景に高炉、專業電炉メーカーともフル精算の状況で、一部では納期遅れが出始めている。今後、材料の歯抜け等も予想され、価格的には強含みで推移しそう。

その他

<軽天材>

- ① 仕入れは確実に値上がりしているものの、競合先との我慢比べは際限なく続いており、適正な利益には程遠い。価格転嫁が出来るほど市中には仕事量が無く、仕入高、販売安の状況がしばらく続く。

<曲げ加工>

- ① 前月と比べれば同等の加工量で横ばい状態。昨年同月と比較すればやや上向きだが、夏季休暇、大手節電政策もあり、いま一つ伸びなかった。春先の震災後からみればやや上向き状況か。今後なお予断を許さない。

<スクラップ>

- ① 稼働日数が少ない分、発生も減少。電力の関係や円高等で極端な下げにはならなかったが、弱めの様子見。調達、即納入の態勢。在庫も減少。

<金属表面処理加工>

- ① 8月は紐付、物件物とも当初の計画通り高いレベルでの処理となった。スポットも前々月より10%以上の受注増にて推移。来月以降の引合も順調であることから、極端な落ち込みは無く、9月も紐付、物件物を中心に8月と同様に高操業を予定。